

血管外科を受診している患者の皆様へ

当科では、下記の医学系研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学病院倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。今回の研究は、対象となる方一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	下肢静脈瘤患者における筋肉と皮下脂肪が空気容積脈波法検査に与える影響についての検討 ~CT、エコーを用いた後ろ向き研究~
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	血管外科
研究責任者	血管外科 助教 三岡裕貴
研究の意義・目的	下腿筋肉によるポンプ作用は静脈血を心臓に送るために重要です。空気容積脈波法(APG)検査では下腿の筋ポンプ作用によって静脈血がどれだけ駆出されたかを測定することができます。静脈血が駆出された割合は下腿の筋ポンプ作用を反映するとされていますが、下腿の筋ポンプ作用に影響する因子は明らかではありません。下腿の筋ポンプ作用に影響を与える因子を解明し筋ポンプ作用を改善させる方法や下肢静脈瘤の最適な手術適応症例を検討します。
対象となる患者さん	2013年4月1日から2021年3月31日までに当院で下肢静脈瘤に対して手術前の超音波検査もしくはCT検査と手術前後でAPG検査が実施された患者さんを研究の対象とします。
研究の方法	超音波検査もしくはCT検査が施行され、検査で得られた画像において下腿の最も太い部分の断面の画像より皮下の脂肪の厚さと筋肉の厚さを測定します。さらに手術前後のAPG検査の結果、採血結果、手術所見、身長、体重を診療情報から確認します。得られた情報から手術後のAPG検査の結果の改善に寄与する因子を検討します。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2026年3月31日
個人情報の取り扱い	利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、個人を特定できる個人情報は利用しません。本研究への参加拒否および、実験内容に関する相談は下記問い合わせ先で対応します。本研究による成果は、国内外の学会での口頭およびポスター発表、ならびに学術雑誌の論文投稿として公表します。個人情報などの本研究への利用を拒否される方は、2025年12月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	本研究は講座等研究費で行う研究であり、企業・団体等とは関与しないため、利益相反は生じません。

問い合わせ先	愛知医科大学病院 血管外科 担当者：三岡裕貴 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22140）
--------	-------------------------------------------------------------------------------------